



腎・副腎・その他

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
5016	レニン活性 4Z010-0000-022-001	EDTA-2Na 血漿 0.3	7	血漿 凍結	4~6	100 生化II	RIA (2抗体法)	安静臥位 0.3~2.9 立位 0.3~5.4 ng/mL/h		【高値】アルドステロン(高) 腎血管性高血圧・悪性高血圧・褐色細胞腫 【高値】アルドステロン(低) アジソン病・21-水酸化酵素欠損症 【低値】アルドステロン(高) 原発性アルドステロン血症・偽性低アルドステロン血症
9006	レニン定量 4Z020-0000-022-006	EDTA-2Na 血漿 0.7	7	血漿 凍結	3~5	108 生化II	IRMA	随時 3.2~36.3 臥位 2.5~21.4 立位 3.6~63.7 pg/mL		原発性アルドステロン血症・偽性低アルドステロン血症 【低値】アルドステロン(低) 水酸化酵素欠損症・DOC産生腫瘍 低レニン性偽性アルドステロン血症
9004	アンギオテンシン I 4Z025-0000-022-001	EDTA-2Na 血漿 0.2	7	血漿 凍結	6~8		RIA (2抗体法)	110以下 pg/mL		【高値】高血圧・妊娠 副腎皮質ホルモン剤 ACEI転換酵素活性の低下 【低値】原発性アルドステロン症 低レニン性本態性高血圧症 高血圧型先天性副腎皮質過形成
9005	アンギオテンシンII 4Z030-0000-022-001	EDTA-2Na 血漿 0.3	7	血漿 凍結	6~8		RIA (2抗体法)	22以下 pg/mL		
5017	アルドステロン	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	125* 生化II	RIA (固相法)	随時 35.7~240 臥位 29.9~159 立位 38.9~307 pg/mL	EDTA血漿でも測定可能	【高値】レニン(高) 腎血管性高血圧 悪性高血圧・褐色細胞腫 【高値】レニン(低) 原発性アルドステロン血症 偽性低アルドステロン血症 【低値】レニン(高) アジソン病・21-水酸化酵素欠損症 【低値】レニン(低) 水酸化酵素欠損症・DOC産生腫瘍 低レニン性偽性アルドステロン血症
5054		24時間 蓄尿 2	6		4~8	125* 生化II		10以下 μg/day		
9085	アンギオテンシンI転換酵素 (ACE) 3B325-0000-023-271	血清 0.7	1	冷蔵	3~5	144 生化I	比色法 (笠原法)	8.3~21.4 U/L	血漿では測定できません。	【高値】活動性カルコイドシス 性肺症・甲状腺機能亢進症・肝炎・肝硬変 【低値】クローン病・慢性リンパ性白血病 多発性骨髄腫・肺結核
9078	ANP (心房性ナトリウム利尿ペプチド) 4Z270-0000-022-023	EDTA トリアール 血漿 0.4	9	血漿 凍結	3~5	227* 生化II	FEIA	43.0以下 pg/mL		【高値】心不全・心筋梗塞・腎不全 本態性高血圧・クッシング症候群 肝硬変
9090	BNP (脳性ナトリウム利尿ペプチド) 4Z271-0000-022-051	EDTA-2Na 血漿 0.3	7	血漿 凍結	1~3	136* 生化II	CLIA	18.4以下 pg/mL		【高値】心不全
2730	NT-pro BNP 4Z272-0000-023-051	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	136* 生化II	CLIA	125以下 pg/mL		【高値】心不全
9001	エリスロポエチン 4Z275-0000-023-052	血清 0.7	1	凍結	3~4	209* 生化II	CLEIA	4.2~23.7 mIU/mL		【高値】貧血 (再生不良性・鉄欠乏性など) エリスロポエチン産生腫瘍 【低値】腎性貧血・慢性炎症
9665	レプチン 4Z400-0000-023-001	血清 0.5	1	凍結	4~9		RIA (2抗体法)	ng/mL		【高値】肥満・高血圧症・妊娠 絨毛性疾患 【低値】神経性食欲不振症
2604	アディポネクチン 4Z401-0000-023-062	血清 0.4	1	凍結	3~6		LA	4.0以上 μg/mL	EDTA血漿でも測定可能	【低値】メタボリックシンドローム 動脈硬化性疾患・糖尿病
2107	HGF (肝細胞増殖因子) 4Z315-0000-023-023	血清 0.4	1	凍結	3~9	227 生化I	ELISA	0.39以下 ng/mL		【高値】肝炎・肝癌・肝硬変 肝炎(急性・慢性) 腎不全・腎移植後拒絶反応

* 内分泌学的検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上の検査を行った場合
3~5項目: 410点 6・7項目: 623点 8項目以上: 900点

- ※レニン活性とレニン定量を併せて行った場合は、一方の所定点数のみを算定する。
- ※エリスロポエチンは、①赤血球増加症の鑑別診断、②重度の慢性腎不全患者又はエリスロポエチン、ダルベオエチン、エポエチンベータベゴル若しくはHIF-PH阻害薬投与前の透析患者における腎性貧血の診断、③骨髄異形成症候群に伴う貧血の治療方針の決定のいずれかの目的で行った場合に算定する。
- ※脳性Na利尿ペプチド(BNP)は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合は、各々の検査の実施日を「摘要」欄に記載する。
- ※脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月に1回に限り算定する。
脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)、脳性Na利尿ペプチド(BNP)及び心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
脳性Na利尿ペプチド(BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)又は心房性Na利尿ペプチド(ANP)のうち2項目以上を実施した場合は、各々の検査の実施日を「摘要」欄に記載する。
- ※肝細胞増殖因子(HGF)は、肝炎にて劇症化が疑われる場合又は劇症肝炎の経過観察に用いた場合のみ算定する。